

基本政策Ⅷ 文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりを進める

政策 目標

「川崎市文化財保護活用計画」に基づき、国史跡橘樹官衙遺跡群をはじめとする文化財の保護・活用を推進します。

日本民家園及びかわさき宙と緑の科学館の博物館活動の充実により、各施設のさらなる魅力向上を図り、本市の魅力として発信します。

主な課題

- ①本市初の国史跡となった橘樹官衙遺跡群（千年伊勢山台遺跡〔橘樹郡家跡〕・影向寺遺跡）については、「国史跡橘樹官衙遺跡群保存活用計画」や「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づき、本市の貴重な宝として将来を見据えた整備を行い、整備完了後は歴史公園として全国にその魅力・価値を発信し、さらなる文化的発展につなげていく必要があります。また、文化財を市民共通の財産として次世代へ伝える取組を進めるため、自主的な文化財保護・活用に対する支援や子どもたちが文化財に触れる機会を確保し、体験的な学習の場面を創出することが求められています。
- ②日本民家園及びかわさき宙と緑の科学館では、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により、来園・来館が困難な方やこれまで訪れる機会のなかった方等に向け生田緑地という本市を代表する地域資源を最大限に活かし、効果的な魅力発信を行い、SNSなどを活用し、自宅で楽しみながら学べるコンテンツの提供や広報を行うとともに、必要があります。

主な取組成果

- ①令和6年7月に文化庁長官の認定を受けた「川崎市文財保存活用地域計画」に基づき、各種取組を推進するとともに、文化財ボランティアについては、新たな担い手の育成のため、第3期文化財ボランティア講座を開講しました。また、橘樹官衙遺跡群の活用について、橘樹歴史公園オープン記念式典の開催、復元倉庫内部特別公開、史跡近隣小学校8校への出前授業、小学校・聾学校等7校への歴史公園見学説明、寺子屋事業での橘官衙樹関連事業実施などを行うとともに、職員を講師として市民等に講義を行い、目標の420人を上回る3,801人の参加の実績をあげ、市民の史跡への理解を促進し、関心を高めることができました。
- ②日本民家園では、夜間公開や伝統芸能公演などの各種行事を実施するとともに、体験学習プログラムの見直しを行いました。また、民家の保存整備について、耐震補強工事等を計画どおり実施したほか、調査研究について、民俗調査「暮らしと家」の計画を策定し調査に着手しました。かわさき宙と緑の科学館では、新たな取組として、本庁舎において出張展示「オーロラワンダー写真展」、「プラネタリウムの舞台裏」を開催しました。また、生田緑地内博物館施設の連携した取組として、日本民家園と「七夕」「お月見」事業を実施したほか、生田緑地近隣の高等学校と連携したプラネタリウム発表会や、宮前市民館と連携したプラネタリウム投影、環境局と連携した星空ウォッチングや企画展「かわさきの環境100年」の実施のほか、商業施設と連携した「星空観望会」の開催など、庁内外関わらず様々な機関と連携した事業を実施しました。

教育改革推進会議における意見内容

- ①②AIやインターネット等のバーチャル環境の発達により、疑似的な体験で充分だと考えてしまう人々が増えていくなかで、文化財や博物館などにおいて、ホンモノに触れてその道を究めた学芸員などから体験的に学ぶことはますます重要である。こうした学び方が日常的な選択肢になるべきだと考える。こうした観点から「生田緑地内博物館施設の連携した取組」などは魅力的であり、非常に重要な取組であると思うと同時に、さらなる発展を期待する。

今後の取組の方向性

- ①「川崎市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財の調査・保存・活用事業を推進します。また、「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」に基づく取組を推進していくため、文化庁・調査整備委員会の指導・助言を受けながら、整備計画の一部見直し等を行います。さらに、橘樹官衙遺跡群活用事業の参加者数が増加傾向を示していることから、こうした市民の要望・期待に応えるため、引き続き積極的に活用事業を実施していきます。
- ②日本民家園では、運営基本方針を事業の企画、運営等の拠り所として活用し、より魅力的な博物館づくりを進めていくとともに、展示・講座等教育普及活動については、引き続き幅広い年代に対応した企画を実施します。かわさき宙と緑の科学館では、来館者数について、SNSや広報誌を活用した積極的な広報を展開するとともに、リピーターを増やす展示の工夫、魅力あるプラネタリウム番組の製作などにより、増加につなげるほか、体験を通した教育普及の取組について、多様なニーズに対応した自然・天文・科学の3分野に関するワークショップ等を実施します。

指標名	指標の説明		実績値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
市内の指定・登録等の文化財及び「川崎市地域文化財顕彰制度」に基づく地域文化財の件数	従来の国・県・市の指定・登録の文化財件数に加え、「川崎市地域文化財顕彰制度」に基づいて顕彰した地域文化財の件数を追加 【出典：川崎市教育委員会調べ】		326件 (R2(2020)年度)	382件	411件	438件	-	470件 以上
文化財ボランティアが参加した事業日数	文化財ボランティアが参加した文化財活用事業の延べ日数 【出典：川崎市教育委員会調べ】		7日 (R1(2019)年度)	28日	35日	38日	-	25日 以上
橘樹官衙遺跡群関連事業への参加者数	橘樹官衙遺跡群の関連事業への参加者数 【出典：川崎市教育委員会調べ】		374人 (R2(2020)年度)	496人	1,866人	3,801人	-	400人 以上
「日本民家園」「かわさき宙と緑の科学館」入園(館)者数	日本民家園の年間入園者数(入園料一般550円(～令和4年度500円)、中学生以下・市内65歳以上無料)及びかわさき宙と緑の科学館の年間入館者数(入館料無料) 【出典：川崎市教育委員会調べ】	民家園	68,267人 (R2(2020)年度)	101,125人	115,373人	116,258人	-	138,000人 以上
		科学館	178,245人 (R2(2020)年度)	249,649人	238,240人	245,195人	-	291,000人 以上
		民家園	94.0% (R2(2020)年度)	91.6%	88.8%	96.7%	-	97.0% 以上
		科学館	87.6% (R2(2020)年度)	82.0%	91.1%	96.5%	-	90.0% 以上
「日本民家園」「かわさき宙と緑の科学館」来園(館)者アンケート満足度	「良かった・満足した」と回答した来園(館)者の割合 【出典：川崎市教育委員会調べ】							